

視察地 兵庫県多可町議会

1 視察年月日 令和6年11月5日

2 視察の目的

本町議会は、令和2年よりパーソナルコンピューターを貸与されているが、ペーパーレス化も含め有効活用していない。貸与されたパーソナルコンピューターを活用し、より効率的な議会運営をするために、デジタル技術を議会運営に積極的に活用している多可町議会の取り組みについて調査することとした。

3 視察地の概況（令和6年4月1日現在）

- (1) 人口 18,891人
- (2) 世帯数 7,699世帯
- (3) 面積 185.19km²
- (4) 財政規模 16,704,000千円（令和6年度一般会計当初予算）
- (5) 地勢・沿革

多可町は、兵庫県の内陸部に位置し、周囲を中国山脈の山々に囲まれ、三国岳を源とする杉原川と笠形山を源とする野間川が県下最長の加古川と合流し、瀬戸内海に流れる水と緑に恵まれた町である。東西13km、南北27km、総面積185.19km²で、直線距離で神戸・姫路まで45km、大阪まで約70kmのところに位置している。

(6) 多可町議会の概要

議会の定数は、14人となっている。委員会は総務まちづくり常任委員会と文教ふくし常任委員会の2常任委員会となっている。会派はない。また、議長を除く13人全議員が毎定例会で一般質問を行っている。

議会や議会報告会は、撮影した動画をケーブルテレビで一部配信し、詳細の動画は議会のユーチューブチャンネルで録画配信している。

4 取り組みの現況

(1) 導入の経過

ア 平成30年1月にICT推進特別委員会を設置

イ 先進地視察

- (ア) 平成30年2月 兵庫県丹波市議会
- (イ) 平成30年5月 岡山県鏡野町議会
- (ウ) 平成30年5月 香川県東かがわ市議会
- (エ) 平成30年10月 兵庫県丹波篠山市議会

(2) ICT化導入前の現状

ア 膨大な資料のため整理に苦慮していた

イ 資料が多すぎて持ち運びできない

- ウ 頻繁に資料を取りに行く必要がある
 - エ 住民に迅速な回答ができていない
 - オ スケジュールや情報の共有ができていない
 - カ 災害の情報が即時に伝わらない
 - キ 資料の印刷や差し替えに職員の大きな労力が使われている
- (3) ICT 導入に向けての目標
- ア 議員が扱う資料の整理
 - イ 災害情報等情報伝達の迅速化
 - ウ 議員の調査環境の向上
 - エ 議員の住民説明資料の充実
 - オ 確実な情報伝達
 - カ ペーパーレスによる経費の削減
 - キ 役場職員の業務軽減
- (4) ICT 導入の経過
- ア 会議システムデモ体験
 - (ア) 平成 30 年 2 月 Sidebooks(東京インタープレイ(株))
 - (イ) 平成 30 年 5 月 more NOTE(富士ソフト(株))

両システムをデモ体験した結果、議員たちは Sidebooks の方がシンプルで使いやすく良かったとの感触を持った。
- (5) Sidebooks 導入の経過
- ア 令和 2 年度当初予算に計上
 - イ 令和 2 年 9 月 会議システムのプロポーザルを実施
 - ウ 令和 2 年 11 月 端末及び通信料の見積入札を実施
 - エ 令和 3 年 3 月 システムを導入し端末を配布
- (6) 導入したシステム等
- ア 端末・システム・通信方法
 - (ア) 端末 iPad Pro 12.9 インチ

大きな画面、初心者でも使いやすい、セキュリティ面で選択
 - (イ) システム Sidebooks(東京インタープレイ)

多くの議会で採用している
 - (ウ) 通信方法 Wi-Fi+cellular モデル

屋外の議員活動にも利用できる。
 - イ 経費
 - (ア) 端末費用及び通信費用(3 年契約)
 - a 初期設定費 83,000 円 (42 台)
 - b 消耗品(ペン、カバー) 1,050,000 円 (42 台)
 - c 端末代 1,650,000 円×3 年=4,950,000 円 (42 台)

端末代の支払いは 3 年間で支払いを終了し、令和 6 年度から発生していない。
 - (イ) システム(3 年契約)
 - a 初期設定費用 88,000 円 (42 台)

- b 研修費(2回分) 176,000 円
- c システム使用料 990,000 円/年(50 アカウント)令和 6 年度同額
- (ウ) 端末通信費用(令和 6 年度)
 - a 通信料(セルラー) 440,000 円/年(17 台分)
- (7) 本稼働までの経緯
 - ア 令和 3 年 4 月より稼働する
 - イ 委員会や全員協議会は最初からペーパーレス
 - ウ 6 月定例会は希望者だけ議案書配布
 - エ 9 月定例会より完全ペーパーレス
- (8) 研修
 - ア 令和 3 年 3 月 オンライン研修(東京インタープレイ)
 - イ 令和 3 年 4 月 タブレット・アプリ基本操作(議会事務局)
 - ウ 令和 3 年 5 月 Sidebooks の研修、グループウェア、Google アカウント作成・カレンダー設定(議会事務局)
 - 研修用に Sidebooks 使用マニュアルを作成
 - エ その他、執行部操作研修、新人議員研修(希望者も参加可)、個別操作研修を行っている。
- (9) 議会の導入による効果
 - ア 電子化により検索等が容易になった
 - イ 資料の整理が簡単になった(保管スペースがいらない)
 - ウ 書類を取りにいかなくてもよくなった
 - エ 執行部からの議案説明や予算の説明が容易になった
 - オ 電子化により紙媒体への印刷が減少した
 - カ 議会事務局の事務作業が減少した
- (10) 執行部の導入による効果
 - ア 用紙代やコピー代が削減できた
 - イ 資料作成の時間が減った
 - ウ 資料の差し替えがしやすくなった
 - エ 資料作成の時間が削減できた
 - オ ICT 推進が加速した
- (11) 議会での活用範囲
 - ア 議会に関する各種資料及び各種計画の配布
 - イ 各種連絡文書等の送受信(グループウェア)
 - ウ 検索サイトからの情報閲覧
 - エ 会議録の PDF データ化
 - オ スケジュール共有(Google カレンダー)
 - カ 議員活動における活用
- (12) 執行部での活用範囲
 - ア 課長会やその他幹部会で活用
 - イ 当初予算、補正予算に関する査定で活用

- ウ 監査業務に活用
- オ その他、課内調整会議などでも活用
- カ 電子入札・電子契約・電子請求システム

(13) 経費削減効果(令和3年度)

- ア 配布対象範囲
 - (ア) 議会 議員 14、議会事務局員 3
 - (イ) 執行部 幹部職員 23、執行部事務局員 2

イ 経費

(ア) 用紙代 785,631 円 印刷代 464,255 円 合計 1,249,886 円

上記の費用のほか、印刷にかかる人件費、廃棄費用、議案等の差し替えに係る手間、資料保管に係る経費等が数値には表れないが、経費として考えられる。

(14) 導入後の声

- | | |
|--------------------|--|
| ア 紙より小さく資料が見つらい | 拡大機能の活用 |
| イ 複数の資料を見る | 2画面表示機能の活用、クイックスイッチ機能の活用 |
| ウ 説明ページへの移行が間に合わない | ページ移動機能を活用、PDFにインデックスをつけて対応。(機能はあるが多可町では使用していない) |
| エ 会議システムの使用法がわからない | 個別に指導を行う、議員全員を対象に研修を行う、執行部も人事異動に合わせて研修を行う |
| オ WordやExcelが使えない | 他のパソコンで文章を作成してPDFで送る |

(15) 今後の課題と展望

- ア 各議員のITスキルの向上
- イ Sidebooks以外の活用
- ウ officeの導入
- エ タブレットを使った議員の住民説明会
- オ セキュリティー対策
- カ リモートワーク・オンライン会議
- キ 自治体DX推進に向けたスキルの向上

4 本町議会と多可町議会の比較

(1) 端末(1台)

- | | | | |
|---------|-------|----------------------------|--|
| ア 庄内町議会 | パソコン | Windows10、13.3インチ、webカメラ内蔵 | 188,045 円
(ヒューレットパッカー製、Microsoft office2019 搭載) |
| | 付属品 | ヘッドセット、スリーブケース等 | |
| イ 多可町議会 | タブレット | iPad Pro 12.9インチ | 118,000 円 |
| | 付属品 | ペン、カバー、キーボード | 25,000 円 |
| | | | 合計 143,000 円 |

Sidebooksを導入するのであれば、iPad Pro はオーバースペック。
もっと安価なタブレットでも対応可

(2) 通信料(1台)

ア 庄内町議会 0円 庁舎内Wi-Fiと自宅Wi-Fiを使用するので無料
他でのネット接続不可

イ 多可町議会 25,800円/年 (セルラー契約) 庁舎外のどこでもネット接続可

(3) システム使用料(1台)

ア 庄内町議会 0円

イ 多可町議会 24,000円/年 Sidebooks使用料

5 タブレット等の選択肢

タブレット、Sidebooks、officeを選択した場合の1台分の比較(価格は量販店の参考価格)。なお、13インチ大画面のタブレットはアップルのiPadとマイクロソフトのsurfaceしかないことから、この2機種を比較した。

(1) アップル iPad air13インチ

ア Wi-Fiモデル 128,000円+専用キーボード 59,000円+専用ペン 21,000円、合計208,000円(セルラーシムが搭載されていないためセルラー契約できない。Wi-Fi環境のないところではネット接続できない)+office契約10,000円/毎年(1箇月契約)

イ Wi-Fiとセルラーシム搭載モデル 155,000円+専用キーボード 59,000円+専用ペン 21,000円=235,000円(セルラー契約できるので、どこでもネット接続できる)+office契約10,000円/毎年(1箇月契約)

ウ 専用ペンで手書きする際の書き味はiPadが優れているとのレビューが多い。

(2) マイクロソフト surface13インチ

ア Wi-Fiとoffice搭載モデル 207,000円+専用キーボード、ペンのセット価格45,000円=252,000円(セルラーシムが搭載されていないためセルラー契約できない。Wi-Fi環境のないところではネット接続できない) office搭載モデルなので毎年のoffice契約料は発生しない。

イ Wi-Fiとofficeとセルラーシム搭載モデル 270,000円+専用キーボードとペンのセット価格45,000円=315,000円(セルラー契約できるのでどこでもネット接続できる) office搭載モデルなので毎年のoffice契約料は発生しない。

(3) 汎用キーボード

ア メーカー純正キーボードは高価なことから、Bluetooth接続の汎用キーボードであれば15,000円前後で購入できる。ただし、純正キーボードはタブレットと接続することで充電できるが、汎用キーボードはUSB等で個別に充電しなければならない。

(4) システム、通信料

ア (1)(2)ともにSidebooksシステム利用料58,200円/年と、セルラー通信料25,800円/年(セルラーシム搭載モデルを導入しセルラー契約した場合)が加算される。

6 考 察

本町議会は、令和2年9月にパソコンが貸与され、庄内町議会オンライン委員会開催要項と庄内町議会パーソナルコンピューター貸与規定を策定し、それぞれの委員会でパソコンの活用を推進している。ペーパーレスについては、1年の猶予期間を経て、令和3年9月定例会で初めて議会・当局双方ペーパーレス議会が行われた。しかし、予算書・決算書関連の資料は希望者に配布することとし、結果的に定数14人のうちペーパーレスで対応している議員は2人だけであり、現在も増えていない。

ペーパーレスに対応できていない原因は、議案説明の際にパソコンだと疑問に思ったことをメモ書きできない。テキストなど技術的には可能だが説明に追いつかないこと。

膨大な予算決算資料の隔年ごとの比較しづらいことと、当局説明にページの展開が遅れがちになることである。

今回、多可町議会のICT化を視察させていただいたところ、議案のメモ書きについては、タブレットを導入すれば、専用のペンで素早く手書きのメモができるとのこと。資料の比較については、大画面のタブレットの画面上で2画面にすれば可能であり、ページ展開については、説明する当局側のタブレットに議員側の複数のタブレットを同期させることによりリモートで同時にページ以降できるとのことであった。

対応していただいた日原議長はじめ議会ICT推進特別委員会の6人の議員の皆さんにICT化のメリット・デメリットを率直に伺ったところ「デメリットはない。令和3年3月にタブレットを導入し6月定例会までは紙も併用していた。移行期間が必要との意見もあったが、覚悟を決めて9月定例会から一気に完全ペーパーレスに切り替えた。結果的に正解だった」「これしかない」と覚悟を決めれば不慣れな議員も対応できる。sidebooksの使い易さが助けになる」「当選1回で、最初からペーパーレスだった。これが紙だったら家の中が紙だらけになる」「資料が膨大であればあるほどペーパーレスが生きてくる」「10年前に今ほどお年寄りにスマホが普及することを想像できただろうか。我々だけが取り残されるわけにはいかない」とのことであった。未だに紙が欲しいという議員もいるとのことであったが、紙の印刷は自分持ちで、議会事務局でのプリントアウトは御法度とのことであった。皆さんの話を伺って、本町議会でペーパーレス化を進めるためには、タブレットを含む使い易いシステムの導入と不転換の覚悟であると実感した。

最後に日原議長から「ペーパーレスは、多くあるメリットの一つだが、一番のメリットは経費削減効果ではなく、議会と執行部のDX化が進み、充実した議論を効率的に行い、町民に分かりやすく発信できることだと思っている」との話を頂き、目から鱗が落ちる思いであった。

本町議会にパソコンが貸与され4年。改めてICT(インフォメーション・コミュニケーションテクノロジー)の重要性と、導入したツールを積極的に活用する責任を痛感した視察研修であった。